

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	平成13年度	根拠法令・例規等	なし		
総合計画	大項目	基本構想	05 生活環境政策「快適・活力」	問	担当課(室)	ホ・イ/ソ課	
	中項目	基本計画	07 地域の活力を生む産業を振興させるまち		合	職・氏名	主査 松下 広信
	小項目	施策	25 魅力ある農林業の推進		先	電 話	0869-64-2177
事務事業名		12	農作物獣害防止施設設置事業	このシート作成に要した時間		1.5 時間	

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	鳥獣による農作物被害防止のため、防護柵を設置する農業者。	事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価
目的(何のために)	有害獣による農作物の被害を防止し、農業者の生産意欲の向上を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	有害獣による農作物の被害防止を図ることで農家所得の安定と農業者の生産意欲の向上につなげる。	

事業の実績			Do
細事業名	事業の説明	優先度	目的を達成するため実施した事業
農作物獣害防止施設設置補助金	有害鳥獣による農作物等の被害防止策として獣害防止施設を設置する農家等に対して予算の範囲内において原材料費を補助	◎	

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	直接事業費	千円	6,919	7,208	6,836
	必要人員数	人	0.22人	0.14人	0.25人
	事業費	千円	8,496	8,319	8,419
	国県支出金	千円	1,273	2,721	2,205
受益者負担	千円				
繰入金	千円				
市	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円	7,223	5,598	6,214	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名	単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績	
説明	設置距離				
結果指標量	m	12,780	10,458	8,611	
対前年比	%	-	81.9%	82.3%	
活動コスト	円	8,496,000	8,319,000	6,836,000	
単位当たりコスト	円	665	795	794	

事業の成果						(平成25年度事業)
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値	事業の意図する成果とつながる成果指標を設定
設置距離 (m)	目標値 (A)				10,000m	
	実績値 (B)	12780	10458	8611	到達目標値	
	達成率 (B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
成果指標設定の考え方・式や説明						鳥獣による農作物への被害防止に有効な手段である為、例年並みの設置距離を設定し推進していく。

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	必要性	<input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
市民参画度	<input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	B	

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
	○						
説明	農作物の被害防止に有効な手段でもあり、広報等で積極的なPRし、集落ごとの取組みを推進していく。						

総合評価		有害獣による農作物被害は増加傾向にあり、農業者からの要望も増えていることから、本事業の実施により被害防止を図ることは、農業者の生産意欲の向上を促進し、農業振興につながるものと考えられる。	総合評価 A B C D E 高や中や低 いや通やい 高 低 い
B			

平成27年度方向性・取組目標							Action
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
	○						
取組目標	有害獣による農作物への被害は増加傾向にあり、地区単位での取組み等を助言するとともに、要望に対して柔軟に対応していく。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的、その数値目標